H.E. JUSUF KALLA

Vice President of Indonesia (2004–2009; 2014–2019)

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Asia
- Government
- Politics

ジュスフ・カラ閣下は、2019年にインドネシア共和国の第10代副大統領および第12代副大統領を務めました。以前は2004年から2009年までその役職に就いていました。カラ氏は5月15日に南スラウェシのワタンポネで生まれました。1942年、ブギス出身の成功したビジネスマン、ハッジ・カラの大家族。

1967年にハサヌディン大学で経済学を卒業した直後、カラ氏は家業であるNV（NamlozeeVenonchamp（HadjiKalla（現在はKallaGroupとして広く知られている）に参加することで民間部門でのキャリアを開始しました。 1977年、彼はフランスのパリにあるフォンテーヌブローにあるINSEADインターナショナルビジネススクールのエグゼクティブプログラムに参加しました。

数年間家業に従事した後、1986年にカラ氏がグループを引き継ぎ、輸出入から製造、自動車、建設、パーム油、海運、不動産、運輸、エビ養殖、電気通信に事業を拡大することに成功しました。 、およびエネルギーおよび電力セクター。

カラ氏は、民間部門でのキャリアを築きながら、1965年に南スラウェシの州民代表評議会（DPRD）に加わったとき、政治と公共サービスにも強い関心を示しました。

1999年、カラ氏はアブドゥルラフマンワヒド大統領により、インドネシア共和国の産業貿易大臣および2000年までインドネシア物流局の議長に任命されました。2001年から2004年まで、彼は国に次のように奉仕しました。メガワティ・スカルノプトリ大統領の下で人民福祉調整大臣。スシロ・バンバン・ユドヨノ氏のランニングメイトとして、カラ氏は2004年の大統領選挙で勝利し、2004年から2009年のインドネシア共和国副大統領に就任しました。

カラ氏は政治家であるだけでなく、さまざまな組織で積極的な指導的役割を果たしてきました。

彼はまた（Centrist Asia Pacific Democrat International（2010-2012）の会長、および東南アジア赤十字と赤新月社のコーディネーター（2010-2011）を務めていました。カラ氏は現在、インドネシア赤十字の会長を兼務しています。

彼の多くの業績の中で、カラ氏はインドネシアでのピースメイカーとしての彼の注目に値する役割で国際的に認められ、賞賛されています。

インドネシアの公共福祉への献身と貢献により、カラ氏は数多くの国内、国際、政府、地域社会の栄誉を授与されてきました。 2004年に、彼はインドネシア共和国のスターを授与されました。これは、インドネシア政府が国への並外れた奉仕に対して授与した最高の装飾です。